

京都の保育界

— 今・昔 —

柳 澤 静 子

戦禍をうけなかつた私どもの京都市は今日では昔に変わらぬ姿で毎日に動いています。

會て訪れていたときました方々にはやはり昔懐しい都としての印象がよみがえつて来る事と存じます。但し京都市の支関京都駅は一昨年秋丁度全国国公立幼稚園長会第一回総会の朝のあの火災で消失しやつと今日では第一期工事を終りまして新装の駅がやゝ京都市の玄關の感じを異にしています。

幼稚園も戦争のため一時休園をいたしました終戦と共に開園、只今では昔とかわらぬ状態に復しています。が

先生方は戦時中職をひかれた方が相当多く古いお馴染が減りましたことはまことに淋しい感じがします。會ての全国大会（播原に、仙台に、大阪、名古屋）に会毎に活躍された先輩諸姉も今は職をひかれました。塩崎多真姉亡きあと活躍された岩井つた姉は只今では幼稚園経営はおやめになつて保育界を去られました。市立日彰幼稚園に凡そ三十年間在職、京都市の幼児教育界をリードされた岡本アイ姉は、一昨年喜の字のよろこびを前に亡き数に入られました。全関西に、又全国に活躍された先輩諸姉は、第一線から失いました

が現在の京都幼児教育界は公私ともそれだけの立場に於てはりきつています。公私立幼稚園は古くから親しく手をとり合つてお互が斯道の發展に専念して来ました。

京都市保育会の誕生は、遠く明治の時代二十四五年頃に逆ります。最初実務者が相より相集つて幼児教育を論じ研究し夜の更けるを忘れて談じ合つたと古い記録に残されていきました。乏しき費用で会費の出どころもなく相寄るもの勿論手弁当で集つたとの事。

又明治二十四五年の頃、京阪神三市の幼稚園に集つてお互の研究経験を語り意見の交換をしたこれがそも、三市連合保育会の始めと記録されています。（残念乍ら記録が終戦後の整理のため今では不明となつています）

三市連合保育会（京阪神）が五市連合保育会（京都、大阪、神戸、名古屋、岡山）となり堺市を加え関西連合保育会と發展し大きく育ちました。年々才々所をかえてこの自主的に生れ育つた研究会が力強く開催されてついに回を

重ねること四十八回突に半世紀の長きにわたつての成長でした。昭和十八年十一月二十一日大阪市で戦争中に私たちは決戦服に身をかため大勢の集会はのぞまれず代表者のみが集つて催されたのを最後として戦争はこの会を中絶させました。併し数年ならずして昭和二十二年十月十七日新らしく発足した関西連合保育会は京都市立生祥幼稚園を会場として初めて第一回の大会をもつ事が出来ました。回を追えば勿論四十九回、併し占領下の私共には許されず会名はつゞけられましたが回は重ねる事は出来ませんでした。

第一回関西連合保育会は戦後日尙浅く交通機関も不備宿泊も意のままならぬ時ではありましたが、名古屋、兵庫大阪、京都、集るもの八百余人まことに力強い再出發でありました。久し振りの会合で集るもの何れも感無量お互の健在を喜び合つた事でした。そして斯道のための努力をお互に約して又会う日をと別れた事でした。爾後年と共に集るもの数を加え現在では全関西に

岡山を加え一千数百名の同志が一堂に会する盛況を見る迄にいたりました。凡そ全国に幼稚園関係の会のみならず

随分多くの会がありましようがかくも自主的に清ち發展し、しかも半世紀の長きに渡つて続けられ尙中絶後新らしく生れて又恙がなく育ちつつある会は他に例のないものではないでしょう。私共の他意なき幼児教育研究に集中した、しかも和の心によつてかたく結ばれた力強さと存じます。

明治二十四五年頃に誕生した京都市保育会は関西の保育界にも活躍をつゞけてりつぱに足跡を残しています。大正十五年頃には実務者保護者は勿論幼児教育に関心をもつ名士諸氏の後援を得て公立私立幼稚園は勿論のこと保育所も共に実務者、保護者うつて一丸となつて幼児教育進展の目的達成のため力強く京都市保育会が新らしく誕生しています。戦争の苛烈はついに一時会の解消のやむなき時代をうみ出しました。だが教育報国団と変形し公私それぞれ分散しました。併し終戦後再び昔日に

劣らぬ熱心さでもつて新発足することが出来ました。自らの力によつてそれ／＼出發しました。

京都市保育会（市内公立）

京都府私立幼稚園協会（私立）

西丹保育会（府下丹波丹後地方公私

立）

山城保育会（府下山城地方公立）

それ／＼の立場に於て各の性格を生かして各自研究会をもつています。そして京都保育連盟としてお互の連絡をとつています。お互の研究に協力してきます。対外的には京都保育連盟として動いています。私共の京都市保育会は昭和二十一年六月市立幼稚園二十園が相より実務者、保護者、共々会員として戦前に優るとも劣らぬ熱意で保護者の協力支援のもとに実務者は幼児教育の進展のための努力を誓つて発足しました。以後保護者の熱心な協力によつて力強く活動しています。京都市保育会のごときは即ち公立幼稚園のごときです。昭和二十六年度は私共は幼児教育の重要さをもつと／＼社会一般に知ら

せたいとの趣旨から大きな事業として次の催しをしました。

一、おや子遊戯大会 十月
一、幼児画の展覧会 一月

・子供の絵はどうみるか。
・子供の絵はどう伸びるか。
附 幼稚園の生活（写真展）

京都市立運動場の陸上競技場を会場として二十二園の全園児（三千名）と全保護者が相より、高くかざげた日の丸の旗の下で秋晴れの一日を楽しく且つ有意義に過しました。午前十時より午後二時迄、午前中は主園の園児が五班に分れてリズムに乗つての遊び、午後はおや子とも／＼のリズム遊びと競走遊び、会の準備は各園の先生方拳つてあたり、当日の会の運営、会の後始末整理には先生、保護者の協力によつてなされます。広い運動場に紙屑一つ残さず整理して引きあげる頃は西の空に太陽が大きく、赤く、沈もうとする頃です。「教育はあらゆる機会にあらゆる場に於てなされるものです。家庭に学校に、社会に、または朝に、夕に、

今日のこの大きな集りも又お互にのぞましい教育の場です……」と大会の挨拶にいつも申しまして一同の協力をのぞむのです。このおや子遊戯大会は京都市教育委員会との共催でいたします。回を重ねること三度。もはや市教育委員会健康教育課では年中行事の一つとしてはつきり予算化される迄になりました。今年も十月の行事として予定しています。

「豆天才画伯」「豆ピカソ」幼なくしてすばらしい絵をかく天才的なる子供が一時話題にのぼり子供の絵に一般人保護者が、関心をむけ出しました。が果して子供の絵をどんなに観ているか今迄の観方で子供をほんとうに伸ばしてやれたか、子供の絵にはもつと／＼深い大きな意味があるのではないか、といった点から私達は平素子達に接して子供から教えられた事をまとめそれによつて絵を通して子供を知り、又子供の絵を知る。そしてそれを子を持つ親達へ、又一般の人々にも及ぼしたいとの気持から、幼児画展覧会を藤井大

丸百貨店で一週間の会期で開催しました。会場には又幼児画のほかに幼稚園の生活を見てすぐわかるよう写真にして展覧しました。一年間の幼稚園の行事、一日の幼稚園生活の流れを、主としていたしましたが目瞭然来会者が非常に楽しく、楽しい中に理解されたようであることに好結果でした。幼児画はみずえ、すみえ、クレオン画、クレパス画、指絵、模様遊び、等を出品しました。絵の発達段階を示したものはこれ又非常に興味深く理解されたようでした。各園の全先生が数回に渡つて幼児画の研究会を催し後子供の絵のみかたを研究した上で指導にあたり子供の四月から一月迄の間に子供達が楽しんで遊んだ後の絵の中からそれ／＼出品したものです。非常に社会一般の関心をひかせる事が出来ました。又小学校の画の教育にも大きく示唆を与えました。

今一つの催は幼児教育に関する懇談会、これは、いづこも同じことと存じますが幼稚園は義務教育でないが故と

かく第二義的に考えられ、むしろ忘れられ勝ちです。それで毎学期一回宛市教育委員会事務局の関係者、教育長、教育委員、市長を招待して各園長、各園保護者代表一同会して懇談会を催します。お互に膝を交えて懇談の中にお互に幼児教育に関する意見の交換をいたします。膝を交えて和やかなうちでの懇談で日頃の意見が交わされて幼稚園を理解してもらうにまことによい機会です。京都は御承知の通り幼児教育発祥の地とも申すべき幼稚遊嬉場がお茶の水の幼稚園に先だつ明治八年十二月に設けられています。が残念にも一年余で閉鎖、その後時を経て柳池幼稚園として設置されました。明治二十一年頃より各学区に逐次設立されました。こゝ数年來六十周年の祝賀をすませた幼稚園が数園あります。併し本市は残念乍ら小学校一四三に対し市立幼稚園僅かに二二しかもその幼稚園が地域的に非常に偏在しています。それは京都市の過去の学区制がこうした結果を生んだもので所謂上京、中京、下京

といつた市の中央部富有区には早くから学区の力によつて幼稚園が設けられていたものです。現在では新市街地に市立幼稚園がなく従つてこの地域には私立幼稚園が設立されています。又保育所もその方面に多く設立されているわけです。市立幼稚園二二、私立幼稚園四五、市立保育所一八、幸い私立幼稚園は年々増加の現状ですが公立は僅か本年は一園増加のみです。本年は全国的傾向として非常に幼稚園入園適令者が多数であつたため本市としても入園希望者を残念乍ら全部收容しきれなかつた実状です。私共は幼児教育の重要性を叫び乍ら又一般社会も重要性をみとめ乍ら実際には入園希望者が希望を達し得ず幼児期の教育を受け得ずして終らねばならないような現在の京都市の有様です。

京都市の私共に大きな問題が残されています。それは幼稚園の増設運動です。一校下一園は勿論私共の願つているところですがまだ一私共にはそれは遠い彼岸です。機会ある毎に理事者

へも、一般社会へも訴えて幼稚園の増設に不断の努力をつよめたいと念願しています。

(筆者京都保育会々長)

保育応答研究会

再開御案内

日時 六月二十一日(土)午後一時半より

(毎月第三土曜日。八月は休会)

会場 フレーベル館講堂

講師 倉橋惣三先生

○皆様のお持ちよりになる保育の実際問題につき、倉橋先生を中心として出席者一同で、互に研究しあう、新しい企画です。多数の御来会を、お待ち受けします。(来会御随意・会費不要)

昭和二十七年五月六日

株式会社 フレーベル館内

保育応答研究会係